

伊達 稀府岳（702m）

登山日：平成2年12月6日（日）

参加者：小山内リーダー以下19名

行程：登山口発；8時10分、最奥民家跡；8時30分

凹部曲点；8時50分、お尻愛の木；9時、第二ピーク；
9時20分、アイゼン装着；560m地点、ガマ岩；9時34分
前稀府；9時40分、稀府岳頂上（702m）；10時12分

下山；10時26分、お尻愛の木；10時50分、

登山口；11時34分

今日は好天に恵まれ初冬には珍しい良い登山日和だ。

このコースは、二十数年前伊達の旧会員の安田さんなど有志が開策した道だ。

体操で身体を解し、8時10分稀班を先頭に登山開始。



凹地形の登山道を隊伍を組んで進む、最奥の民家跡で体温調整、一服を摂る。カラマツの植林地を辿る。



凹地最後の急斜面を息を弾ませ登る、愛しのお尻愛の木だ、一服する。



尾根まで結構な登りが続く、日蔭の箇所は凍結している足元を踏みしめて登る。尾根道が待たれる。尾根に出ると風も無く、笹原の道を俯瞰する。綺麗に刈り分けられた道が一直線に延びていた。後方に視界が広がり気持ちの良い汗を掻く。



足元が凍結して滑るので縁の雪の柔らかい处を選んで登る。第二ピークまで後一息560m付近にてリーダーの指示で6本爪アイゼンを装着、良く爪が食い込み何の不安も無く軽快に足を進める。

9時34分ガマ岩に到着、息を弾ませ前稀府に到着



最後の急登を息を弾ませて、左手遠方に伊達の町並。



10時20分稀府岳頂上に立つ。背後は室蘭岳派生山



喜びの笑顔、ハイ“ポーズ”



行動食をお腹に詰め、10時26分府班を先頭に頂上を後に下山、下りはより慎重に、お尻愛の木で休憩、登山口に11時34分帰着、全員怪我も無く完登、リーダー、各担務者に感謝。

記近藤